

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(1)	選択式	3分	普通

みらいさんは、家でカレーライスを作った時のことを話しました。お母さんと2人でジャガイモを1こずつ皮むきましたとき、あることに気がつきました。

みらいさん: 同じ大きさのジャガイモだったのに、お母さんのむいた皮には、実がほとんどついていないね!

お母さん: お母さんは、できるだけ皮はうすくむいているのよ。

そこでみらいさんは、お母さんがむいた皮と、自分がむいた皮の重さを量ってみました。

＜同じ大きさのジャガイモを1こずつ皮むきたときの皮の重さ＞
お母さん…21g みらいさん…43g

みらいさんは、1年間毎月1回カレーライスを作る場合、2人が同じ大きさのジャガイモを1こずつ皮むきすると、皮の重さのちがいはどのくらいになるか考えるため、右のようなA、Bの2つの式を立てました。

【Aの式】 $43 \times 12 - 21 \times 12 = 264$
【Bの式】 $(43 - 21) \times 12 = 264$

問題 1
【Aの式】の「 43×12 」と、【Bの式】の「 $(43 - 21)$ 」は、それぞれ何を表していますか。最もあてはまるものを、次のア～エの中からそれぞれ1つずつ、記号で選びましょう。

ア お母さんが毎月1回皮むきたときの1年間の皮の重さ
イ みらいさんが毎月1回皮むきたときの1年間の皮の重さ
ウ 2人が、1回皮むきたときの皮の重さのちがい
エ 2人が、毎月1回皮むきたときの1年間の皮の重さのちがい

＜解答らん＞
【Aの式】
【Bの式】

＜出題のねらい＞

日常生活の場面から発見した問題について、算数で学習した計算のきまりを生かして、解決していくことができるかどうかをみる。

＜『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連＞

「見いだす」…既習の内容や方法を振り返る。疑問をもつ。

＜学習の基盤となる資質・能力＞ 学習指導要領総則より＞

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

＜授業改善の視点＞

算数では、日常生活の場面を式に表す活動が大切です。また、立式して計算をするだけでなく、友達の考えた式を場面と関連付けて読み取ったり、「〇〇の場合も同じように考えられるか」など発展的に考えたりさせるとよいでしょう。



＜解答類型と分析＞

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例	個票への記述
1	◎ A、Bの式の下線部について意味を読み取っている。 Aの式 「みらいさんがむいた1個分の皮の重さ×12か月」 Bの式 「(みらいさんがむいた1個分の皮の重さ－お母さんがむいた1個分の皮の重さ)」	A:イ B:ウ	かけ算とひき算が混ざった式について、「一つ分の大きさ×いくつ分」や「ひき算はちがいを求められること」など、式の意味を読み取ることができています。式の意味を日常生活と関連付けて考えることができています。
2	○ Aは式の意味を読み取れている。 Bは式の意味を読み取れていない。	A:イ B:ア、イ、エ、無解答のいずれか	かけ算とひき算が混ざった式について、「一つ分の大きさ×いくつ分」に当てはめて式を読み取ることができましたが、()を用いた場合の式を読み取ることができませんでした。日常生活の場面を式に表す活動に力を入れていきましょう。
3	○ Aは式の意味を読み取れていない。 Bは式の意味を読み取れている。	A:ア、ウ、エ、無解答のいずれか B:ウ	()を用いた場合のひき算の意味を読み取ることができましたが、かけ算の意味を読み取ることができませんでした。かけ算は「一つ分の大きさ×いくつ分」であることを復習し、日常生活の場面を式に表す活動に力を入れていきましょう。
4	○ A、Bともに式の意味を読み取れていない。	A:イ以外 B:ウ以外	かけ算とひき算が混ざった式や()を用いた式であっても、かけ算では「一つ分の大きさ×いくつ分」、ひき算は「ちがい」を求めることができます。日常生活の場面を式に表す活動に力を入れていきましょう。
0	○ A、Bともに無解答	—	かけ算とひき算が混ざった式や()を用いた式であっても、かけ算では「一つ分の大きさ×いくつ分」、ひき算は「ちがい」を求めることができます。日常生活の場面を式に表す活動に力を入れていきましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(2) ア	選択式	3分 ※(2)全体	易

問題 2

みらいさんは、【資料1～4】を見てわかったことや考えたことを次のア～エのふせんに書き出しました。ア～エのふせんの下線部分は、それぞれの資料から読み取ったものでしょうか。あてはまる資料の番号を、①～④から1つずつ選びましょう。 ※同じ番号の資料を2回使ってよいです。

【資料1】発生要因の内訳

○日本の食品ロスは523万t

企業での食品ロス発生合計量 279万t

※1 食品製造業 45%
※2 食品販売業 27%
外食産業 29%

ア 政府は、2030年度までに食品ロスを半分に減らす、とっている。今の生活を続けていて、本当に半分に減らせるのだろうか。

イ 日本の食品ロスは約523万tあり、家庭での食品ロスが一番多いのは、食べずに捨てることだった。これを減らすにはどうしたらいいのか？

ウ 外食産業と食品製造業の食品ロスを合わせると、企業での食品ロス全体の74%になる。作りすぎてしまった食品が捨てられているのか？

エ ごみ処理するための費用が10年間で国民1人当たり3000円以上も高くなっている。食品ロスを減らすことで少しは安くできるのではないのか。

※解答らん

ア イ ウ エ

<出題のねらい>

グラフや文章など様々な形の情報の中から、目的に応じて必要な情報を読み取り、身の回りにある問題を把握するとともに、課題を明確にすることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「見いだす」…疑問をもつ。課題を明確にする。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より>

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

<授業改善の視点>

児童が身近なことに関心をもち自ら課題設定するためには、疑問に感じたことを調べたり、話し合ったりする活動が大切です。児童が主体となった探究的な学習に進めていけるように指導していきましょう。算数では日常生活に関連する素材を活用したり、児童が疑問をもてるような発問の工夫をしたりしましょう。また、国語や社会では、思考ツールやICT機器などの効果的な活用、様々な資料の比較をすることで、集めた情報から明確な課題を設定でき、児童同士の話し合いが活発になるでしょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例	個票への記述
1	◎ ②と解答している。	②	新聞記事に書かれている内容を正確に読み取ることができています。その調子で、文章に書かれている内容で大切なことを読み取れるようにしていきましょう。
2	①と解答している。	①	①の円グラフはき業や家庭での食品ロスの内わけです。円グラフに書かれている言葉や数字が何を示しているのかを考えるようにしましょう。
3	③と解答している。	③	③の資料は農家の人がこまっている、見えない食品ロスについて書かれています。資料が何を伝えたいのか、問題文に出てくる言葉や数値は何を表しているのかに着目していくとよいでしょう。
4	④と解答している。	④	④の折れ線グラフはごみをしょ理するために、お金がいくらかかるかを示しています。折れ線グラフの変化の様子だけでなく、表題やたてじく、横じくの単位や数値にも着目していくとよいでしょう。
0	無解答	—	まずは一つ一つの資料が何を表しているかをメモしてみましょう。そして、集めた資料の中から、必要な情報を選ぶようにしましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(2)イ	選択式	3分 ※(2)全体	易

問題 2

みらいさんは、【資料①～④】を見てわかったことや考えたことを次のア～エのふせんに書き出しました。ア～エのふせんの下線部分は、それぞれの資料から読み取ったものでしょうか。あてはまる資料の番号を、①～④から1つずつ選びましょう。 ※同じ番号の資料を2回使ってもよいです。

【資料①】発生要因の内訳

○日本の食品ロスは523万t

企業での食品ロス発生合計量 279万t

業種	割合
食品販売業	27%
食品製造業	45%
外食産業	29%

ア 政府は、2030年度までに食品ロスを半分に減らす、とついでいる。今の生活を続けていて、本当に半分に減らせるのだろうか。

イ 日本の食品ロスは約523万tあり、家庭での食品ロスで一番多いのは、食べずに捨てることだった。これを減らすにはどうしたらいいのか？

ウ 外食産業と食品製造業の食品ロスを合わせると、企業での食品ロス全体の74%になる。作りすぎてしまった食品が捨てられているのか？

エ ごみ処理するための費用が10年間で国民1人当たり3000円以上も高くなっている。食品ロスを減らすことで少しは安くできるのではないかな。

解答らん

ア イ ウ エ

<出題のねらい>

グラフや文章など様々な形の情報の中から、目的に応じて必要な情報を読み取り、身の回りにある問題を把握するとともに、課題を明確にすることができるかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「見いだす」…疑問をもつ。課題を明確にする。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より>

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

<授業改善の視点>

児童が身近なことに興味をもち自ら課題設定するためには、疑問に感じたことを調べたり、話し合ったりする活動が大切です。児童が主体となった探究的な学習に進めていけるように指導していきましょう。算数では日常生活に関連する素材を活用したり、児童が疑問をもてるような発問の工夫をしたりしましょう。また、国語や社会では、思考ツールやICT機器などの効果的な活用、様々な資料の比較をすることで、集めた情報から明確な課題を設定でき、児童同士の話し合いが活発になるでしょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例	個票への記述
1	◎ ①と解答している。	①	円グラフの内容を正確にとらえることができている。その調子で、円グラフを読み取る際には表題や数値などが何を表しているのかを考えるようにしましょう。
2	②と解答している。	②	②の資料は牛にゆうがすてられている問題のことや政府の目標について書かれています。文章を読む際には、大切な内容をメモしたり、印をつけたりしてみましょう。
3	③と解答している。	③	③の資料は農家の人がこまっている見えない食品ロスについて書かれています。資料が何を伝えたいのか、問題文に出てくる言葉や数値は何を表しているのかに着目していくといいでしょう。
4	④と解答している。	④	④の折れ線グラフはごみをしよ理するために、お金がいくらかかるかを示しています。折れ線グラフの変化の様子だけでなく、表題やたてじく、横じくの単位や数値にも着目していくといいでしょう。
0	無解答	—	まずは一つ一つの資料が何を表しているかをメモしてみましょう。そして、集めた資料の中から、必要な情報を選ぶようにしましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(2)ウ	選択式	3分 ※(2)全体	易

問題 2

みらいさんは、【資料1～4】を見てわかったことや考えたことを次のア～エのふせんに書き出しました。ア～エのふせんの下線部分は、それぞれの資料から読み取ったものでしょうか。あてはまる資料の番号を、①～④から1つずつ選びましょう。 ※同じ番号の資料を2回使ってよいです。

【資料1】発生要因の内訳

○日本の食品ロスは523万t

業種	発生量 (万t)	割合 (%)
食品製造業	238.5	45%
外食産業	152.7	29%
食品販売業	131.8	27%
発生合計量	279	100%

ア 政府は、2030年度までに食品ロスを半分に減らす、とっています。今の生活を続けていて、本当に半分に減らせるのだろうか。

イ 日本の食品ロスは約523万tあり、家庭での食品ロスが一番多いのは、食べずに捨てることだった。これを減らすにはどうしたらいいのか？

ウ 外食産業と食品製造業の食品ロスを合わせると、企業での食品ロス全体の74%になる。作りすぎてしまった食品が捨てられているのか？

エ ごみ処理するための費用が10年間で国民1人当たり3000円以上も高くなっている。食品ロスを減らすことで少しは安くできるのではないかな。

＜解答らん＞

ア イ ウ エ

＜出題のねらい＞

グラフや文章など様々な形の情報の中から、目的に応じて必要な情報を読み取り、身の回りにある問題を把握するとともに、課題を明確にすることができるかどうかをみる。

＜『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連＞

「見いだす」…疑問をもつ。課題を明確にする。

＜学習の基盤となる資質・能力＞学習指導要領総則より＞

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

＜授業改善の視点＞

児童が身近なことに関心をもち自ら課題設定するためには、疑問に感じたことを調べたり、話し合ったりする活動が大切です。児童が主体となった探究的な学習に進めていけるように指導していきましょう。算数では日常生活に関連する素材を活用したり、児童が疑問をもてるような発問の工夫をしたりしましょう。また、国語や社会では、思考ツールやICT機器などの効果的な活用、様々な資料の比較をすることで、集めた情報から明確な課題を設定でき、児童同士の話し合いが活発になるでしょう。



＜解答類型と分析＞

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ ①と解答している。	①
2	②と解答している。	②
3	③と解答している。	③
4	④と解答している。	④
0	無解答	—

個票への記述
円グラフの内容を正確にとらえることができている。その調子で、円グラフを読み取る際には表題や数値などが何を表しているのかを考えるようにしましょう。
②の資料は牛にゆうがすてられている問題のことや政府の目標について書かれています。文章を読む際には、大切な内容をメモしたり、印をつけたりしてみましょう。
③の資料は農家の人がこまっている見えない食品ロスについて書かれています。資料が何を伝えたいのか、問題文に出てくる言葉や数値は何を表しているのかに着目していくといいでしょう。
④の折れ線グラフはごみをしょ理するために、お金がいくらかかるかを示しています。折れ線グラフの変化の様子だけでなく、表題やたてじく、横じくの単位や数値にも着目していくといいでしょう。
まずは一つ一つの資料が何を表しているかをメモしてみましょう。そして、集めた資料の中から、必要な情報を選ぶようにしましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(2)エ	選択式	3分 ※(2)全体	易

問題 2

みらいさんは、【資料①～④】を見てわかったことや考えたことを次のア～エのふせんに書き出しました。ア～エのふせんの下線部分は、それぞれの資料から読み取ったものでしょうか。あてはまる資料の番号を、①～④から1つずつ選びましょう。 ※同じ番号の資料を2回使ってもよいです。

【資料①】発生要因の内訳

○日本の食品ロスは523万t

企業での食品ロス 発生合計量 279万t

- 食品製造業 45%
- 外食産業 29%
- 食品販売業 27%

ア 政府は、2030年度までに食品ロスを半分に減らす、と決まっています。今の生活を続けていて、本当に半分に減らせるのだろうか。

イ 日本の食品ロスは約523万tあり、家庭での食品ロスが一番多いのは、食べずに捨てることだった。これを減らすにはどうしたらいいの？

ウ 外食産業と食品製造業の食品ロスを合わせると、企業での食品ロス全体の74%になる。作りすぎてしまった食品が捨てられているのか？

エ ごみ処理するための費用が10年間で国民1人当たり3000円以上も高くなっている。食品ロスを減らすことで少しは安くできるのではないかな。

解答らん

ア イ ウ エ

<出題のねらい>

グラフや文章など様々な形の情報の中から、目的に応じて必要な情報を読み取り、身の回りにある問題を把握するとともに、課題を明確にすることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「見いだす」…疑問をもつ。課題を明確にする。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より>

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

<授業改善の視点>

児童が身近なことに興味をもち自ら課題設定するためには、疑問に感じたことを調べたり、話し合ったりする活動が大切です。児童が主体となった探究的な学習に進めていけるように指導していきましょう。算数では日常生活に関連する素材を活用したり、児童が疑問をもてるような発問の工夫をしたりしましょう。また、国語や社会では、思考ツールやICT機器などの効果的な活用、様々な資料の比較をすることで、集めた情報から明確な課題を設定でき、児童同士の話し合いが活発になるでしょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ ④と解答している。	④
2	①と解答している。	①
3	②と解答している。	②
4	③と解答している。	③
0	無解答	—

個票への記述

折れ線グラフからわかることを正確にとらえることができている。その調子で、折れ線グラフの数値の変化から情報を読み取れるようにしていきましょう。

①の円グラフはき業や家庭での食品ロスの内わけです。円グラフに書かれている言葉や数字が何を示しているのかを考えるようにしましょう。

②の資料は牛にゆうがすてられている問題のことや政府の目標について書かれています。文章を読む際には、大切な内容をメモしたり、印をつけたりしてみましょう。

③の資料は農家の人がかまっている見えない食品ロスについて書かれています。資料が何を伝えたいのか、問題文に出てくる言葉や数値は何を表しているのかに着目していくといいでしょう。

まずは一つ一つの資料が何を表しているかをメモしてみましょう。そして、集めた資料の中から、必要な情報を選ぶようにしましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(3)	選択式	3分	普通


問題 3

みらいさんたちは、インターネットを活用して「食品ロスを減らす取り組み」について調べ、見つけた6つの取り組みを、生活の場面ごとにカードにしました。

次のA～Fのうち、【買い物中の取り組み】にあてはまるものを2つ選びましょう。


A 外食での注文

●食(た)べられる分(ぶん)だけ注文



B 食材をチェック

●買(か)い物(もの)の前(まえ)に、冷(れい)ぞう庫(こ)などにある食材(しょくざい)を確認(かく)にんする



C 適切(てきせつ)に保(ほ)ぞんする


●食品(しょくひん)に書(か)かれた方法(ほうほう)にしたがって保(ほ)ぞんする

●すぐいたむ野菜(やさい)などは冷(れい)とう・ゆでるなど、長(なが)もちする保(ほ)ぞんをする




D 必要(ひつよう)な分(ぶん)だけ買(か)う

●必要(ひつよう)な分(ぶん)・食(た)べきれぬ量(りょう)だけ買(か)う



E 食材(しょくざい)を上手(じょうず)に使(つか)い切る


●残(のこ)っている食材(しょくざい)から使(つか)う



F 期限(きげん)表示(ひょうじ)に気(き)をくばる

●いつ使(つか)うのか考(かんが)えて期限(きげん)表示(ひょうじ)にしたがって使(つか)う

●すぐ使(つか)う食品(しょくひん)は、商品(しょうひん)たなの手前(てまえ)から取(と)る



<解答らん>

2個まで選べます

A
 B
 C
 D
 E
 F

<出題のねらい>

課題に基づいて調べ、集めた多様な情報を整理するために、それぞれの資料の共通点を見だし、分類できるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「自分で取り組む」…集めた情報を分類する。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より>

言語能力 **情報活用能力** 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

家庭科では、日常生活の様々な場面と、学習の内容を結びつけて指導するようにしましょう。集めた情報がどのようなことを伝えているのかということに注意して、内容を正確に読み取るように指導することが大切です。また、情報を分類・整理する際には、共通点や相違点に目を向けるなど、児童が自ら学習を進められる力を身に付けられるように指導していきましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ A…外食中のこと、B…家の中のこと C…家の中のこと、D…買い物中のこと E…家の中のこと、F…買い物中のこと D、Fが買い物中の取り組みである。	D・F
2	○ A…外食中のこと、B…家の中のこと C…家の中のこと、D…買い物中のこと E…家の中のこと、F…買い物中のこと	DとA、B、C、E、無解答のいずれか
3	○ A…外食中のこと、B…家の中のこと C…家の中のこと、D…買い物中のこと E…家の中のこと、F…買い物中のこと	FとA、B、C、E、無解答のいずれか
4	A…外食中のこと、B…家の中のこと C…家の中のこと、D…買い物中のこと E…家の中のこと、F…買い物中のこと	A、B、C、Eのいずれか2つを選んでいる。または片方が無解答になっている。(DとFが選択されていない)
9	上記以外の解答	例：3つ選択している
0	無解答	—

個票への記述
調べ学習を進めていく中で、その資料がどのようなことを表しているのかに注目し、適切に仲間分けすることができています。
イラストと言葉が、どのような場面を表しているのか考え、資料を仲間分けするようにしましょう。日常生活の場面と結びつけて考えることも大切です。
イラストと言葉が、どのような場面を表しているのか考え、資料を仲間分けするようにしましょう。日常生活の場面と結びつけて考えることも大切です。
イラストと言葉が、どのような場面を表しているのか考え、資料を仲間分けするようにしましょう。日常生活の場面と結びつけて考えることも大切です。
複数の資料があるときには、一つ一つの資料がどのような情報を示しているのか、整理したり、仲間分けしたりするようにしましょう。また、指示に合わせて答えることも大切です。
複数の資料があるときには、一つ一つの資料がどのような情報を示しているのか、整理したり、仲間分けしたりするようにしましょう。日常生活の場面と結びつけて考えることも大切です。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(4)	選択式	3分	易

問題 4
みらいさんたちは、6つの取り組みA～Fと、自分たちの体験を比べて話し合いました。
①～④のみらいさんたちの話し合いの中で、話題に上がっていない取り組みはどれでしょう。A～Fの中から1つ選びましょう。

① わたしは、休みの日に食材をゆでたり、冷とうしたりして、保
ぞんしているよ。家の人は仕事で平日いそがしいから、これらを使っ
ていよ。

② 買い物に行く前に、冷蔵庫にある食材を確認して家族4人が食
べられる分を買うようにしているよ。

③ この前、レストランでたのみすぎて、お兄ちゃんに残した分を食べ
てもらったよ。

④ 日曜日に、お父さんとカレーを作ったんだ。お肉とにんじん、たまね
ぎが家にあったから、すぐにメニューがうかんだよ。

A 外食での注文
●食(た)べられる分(ぶん)だけたむ

B 食材をチェック
●買(か)い物(もの)の前(まえ)に、冷(れい)ぞう庫(こ)などにある食(じ)材(ざい)(しょうざい)を確認(かく)にんする

C 適切(てきせつ)に保(ほ)ぞんする
●食(じ)品(ひん)(しょうひん)に書(か)かれた方(かた)法(ぽう)(ほう)にしたがって保(ほ)ぞんする
●すぐいとも野菜(やさい)などは冷(れい)ぞう庫(こ)など、保(ほ)ぞんする

<解答らん> 話題に上がっていない取り組み

<出題のねらい>

調べた情報と自分たちの生活を結びつけて話し合う様子から、情報の内容を的確にとらえ、自分たちの課題に関係する適切な資料を選択できるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「自分で取り組む」…情報を収集し調べる。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より>

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

探究的な学習や、国語の学習で情報を収集するときには、調べた情報をそのまま使用するのではなく、子どもたちの生活や経験と結び付けていくことが大切です。家庭科の学習では、生活体験が不足していたり、資料と自分の経験をうまく結びつけることができなかつたりする児童もいます。友達との交流を通して、自分の考えや思いを表現できるように指導しましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ Fの資料については、どの児童も話題に取り上げていないため、問題の条件に合う適切な資料である。	F
2	③のけんたさんはAの資料をもとに話しているため、問題の条件に合わない。	A
3	②のみらいさんはBとDの資料をもとに話しているため、問題の条件に合わない。	BとDのいずれか
4	①のともさんはCの資料をもとに話しているため、問題の条件に合わない。	C
5	④のみつおさんはEの資料をもとに話しているため、問題の条件に合わない。	E
0	無解答	—

個票への記述
「期限表示」については、①～④のだれも話していません。資料を整理するときは、話している内容と資料を結びつけて考えることができている。
③はAの資料をもとに、経験したことを話しています。資料を整理するときは、話している内容が、どの資料と結びついているのか整理して考えましょう。
②はBとDの資料をもとに、経験したことを話しています。資料を整理するときは、話している内容が、どの資料と結びついているのか整理して考えましょう。
①はCの資料をもとに、経験したことを話しています。資料を整理するときは、話している内容が、どの資料と結びついているのか整理して考えましょう。
④はEの資料をもとに、経験したことを話しています。資料を整理するときは、話している内容が、どの資料と結びついているのか整理して考えましょう。
複数の資料があるときには、目的に応じて、大事な言葉や内容をもとに、整理したり、仲間分けしたりするようにしましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(5)	選択式	3分	易

問題 5

みらいさんのグループは、お家の人に意見を聞くため、アンケートで聞くことになりました。みらいさんたちは、【お家の人へのアンケート】で聞くことについて、あと1つずつ入れることにしました。下のア～エは、話し合いで出ていた意見です。

【お家の人へのアンケート】の中の「1 <伝えたい内容について>」の③と、「2 <わかりやすいスライドの作り方について>」の④に最もふさわしい意見を、□の「ア～エ」の中から1つずつ選びましょう。

【お家の人へのアンケート】

1 <伝えたい内容について>

① 食品ロスはどのようなのか、説明が足りているか。

② 食品ロスを減らすための具体例は、取り組みやすいと思ったか。

③ □

2 <わかりやすいスライドの作り方について>

④ 貴い物 客にとって読みやすい量のスライドになっているか。

⑤ 図やイラストは効果的に使われているか。

⑥ □

(他にでていた意見)

ア 食品ロスがなぜ問題なのかをしっかりと伝えていたか。

イ 環境を守るためのエコパックの必要性をきちんと伝えていたか。

ウ 好き嫌いなく食べることが健康につながるということがよくわかったか。

エ 注目させたいことや大事なことを強調する工夫がみられたか。

<出題のねらい>

自分たちの伝えたいことを的確に伝えることができるかをみるために、めあてに沿って課題解決の視点を明確にすることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「自分で取り組む」…解決の見通しをもつ。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より>

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

国語や探究的な学習などで資料を作成するにあたり、「よい資料」の基準を明確にすることは、大切です。今回は、「内容」と「わかりやすさ」という2つの観点についてアンケートを考えました。適切なアンケートを作ったり、インタビューの機会を設けたりして他の視点を入れて考えさせるのもよいでしょう。目的に合った資料を作成する力や作成した資料の「よさ」を判断する力を高めることにもつながります。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	ア…食品ロスの内容について (○) イ…環境を守る取り組みを伝えたかについて (×) ウ…健康について伝えたかについて (×) エ…スライドの見やすさについて (○)	③ア (○) ⑥エ (○)
2	ア…食品ロスの内容について (○) イ…環境を守る取り組みを伝えたかについて (×) ウ…健康について伝えたかについて (×) エ…スライドの見やすさについて (○)	③ア (○) ⑥エ以外 or 無解答 (×)
3	ア…食品ロスの内容について (○) イ…環境を守る取り組みを伝えたかについて (×) ウ…健康について伝えたかについて (×) エ…スライドの見やすさについて (○)	③ア以外 or 無解答 (×) ⑥エ (○)
4	ア…食品ロスの内容について (○) イ…環境を守る取り組みを伝えたかについて (×) ウ…健康について伝えたかについて (×) エ…スライドの見やすさについて (○)	③ア以外 or 無解答 (×) ⑥エ以外 or 無解答 (×)
0	無解答	—

個票への記述

発表の準備をするときは、内容について、また、見やすさやわかりやすさについて、読み手や聞き手の立場になって考えることが大切です。これら2つのことについて、よくできています。

発表の準備をするときに、内容について、確にんしていくことが大切であることをとらえています。読み手や聞き手の立場になって、見やすさやわかりやすさについても考えるとよいでしょう。

読み手や聞き手の立場になって、見やすさやわかりやすさについて考えることはよくできています。発表内容について確かめることも大切です。目的に応じた内容になっているか、よく考えるとよいでしょう。

発表の準備をするときは、内容について、また、見やすさやわかりやすさについて、読み手や聞き手の立場になって考えることが大切です。これら2つのことについて、目的を明確にして考えましょう。

発表の準備をするときは、内容について、また、見やすさやわかりやすさについて、読み手や聞き手の立場になって考えることが大切です。これら2つのことについて、目的を明確にして考えましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(6)	選択式	3分	普通

発生要因の内訳

企業での食品ロス 発生合計量 279万t

家庭での食品ロス 発生合計量 244万t

家庭での食品ロスも多い！

問題 6

下の花子さんのふさだしの「あ」「い」にあてはまる、もっともふさわしい言葉の組み合わせを、次の①～⑧の中からそれぞれ1つずつ選びましょう。

「発生要因の内訳」という見出しですが、わたしなら、「あい」という見出しにしたいと思います。理由は、「あい」です。

見出し「あ」

- ①スーパーマーケットの食品ロス
- ②食品ロスの理由とそのわり合
- ③ご飯を残さずたべよう
- ④家庭での食品ロス

理由「い」

- ⑤ご飯を残さず良ければ、食品ロスを減らせるし、栄養もきちんととれるから
- ⑥家庭での食品ロスを減らすことが、自分たちにもできることだから
- ⑦食品ロスは、スーパーマーケットでたくさん出ていると思うから
- ⑧言葉が難しいので、わかりやすい言葉に変えた方がいいと思ったから

<出題のねらい>

資料の内容を把握し、学習のめあてや伝える相手に応じた、適切な見出しを考えることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「広げ深める」…新たな考えに気付く。友達と互いに学び合う。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より>

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

様々な教科で、情報を発信するときには、目的や相手に合わせて、効果的に伝える方法や表現を検討するための話し合い活動を取り入れることも有効です。また、友達など、他者から助言を求める場を設定することも、新たな考えに気付いたり、互いに学び合ったりすることに繋がります。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ 資料の内容を把握し、伝える目的や相手に合わせて、適切な見出しと、その理由を選んでいる。	【あ】 ② 【い】 ⑧ (完答)
2	○ 発生要因の内訳に代わる適切な見出しを選んでいるが、その理由については、見出し及び資料との整合性がとれていない。	【あ】 ② 【い】 ⑧以外 (無解答含む)
3	○ 適切な理由を選んでいるが、資料内容を把握しておらず、代わりとなる見出しが資料内容と合っていない。	【あ】 ②以外 (無解答含む) 【い】 ⑧
4	見出し、理由ともに不適切であり、資料内容や伝える相手等が把握できていない。	【あ】 ②以外 【い】 ⑧以外
0	無解答	—

個票への記述

資料の内容を正しく理解しており、伝える目的や相手に合わせて、適切な見出しと理由を考えることができます。これからも、目的や相手に合わせた表現方法について、友達と学び合っていきましょう。

適切な見出しを選んでいましたが、その理由が見出しや資料の内容と合っていないところがありました。資料の内容をよく確にんし、よりふさわしい見出しにするために、目的や相手に応じて考えましょう。

伝える目的や相手に合わせて、見出しをわかりやすくすることは大切ですね。言葉の意味や使い方を調べるなどして、伝えたいことに合わせて、資料の内容にふさわしい見出しを考えましょう。

まずは、資料が何を表しているのか確にんしましょう。特に、いくつかの資料をあつかうときは、それぞれが何を表しているかを確にんすることが大切です。その上で、伝える目的や相手、資料に合った見出しを考えましょう。

まずは、資料が何を表しているのか確にんしましょう。特に、いくつかの資料をあつかうときは、それぞれが何を表しているかを確にんすることが大切です。その上で、伝える目的や相手、資料に合った見出しを考えましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(7)	選択式	3分	普通

みらいさんのグループは、スーパーマーケットやコンビニエンスストアで見かけた「てまえどり」について作ったスライドも、他のグループから意見をもらうことにしました。

みらいさんのグループが作った「てまえどり」のA案・B案

A案

「てまえどり」とは、買ってすぐ食べる場合に、商品正位の手前にある賞味期限や消費期限の近い商品を選んで買つていただきます。

お母は、期限が過ぎてしまうと捨てなければならないため、「てまえどり」で賞味期限や消費期限の近い商品を買つことで、食品ロスを減らすことができます。

これを、みんなで作れば、大きな成果になると思います。


B案

すぐ食べるなら「てまえどり」!

↓

食品ロス(もったいない)が減る!

すぐ食べるなら手前からってね!



花子さん

B案の方がよいと思います。なぜなら・・・。

問題 7

花子さんの意見について、次の①【B案のよいところ】はア～ウの中から、②【よいと考えた理由】はあ～うの中から、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつ選びましょう。

①【B案のよいところ】

ア 見出しや短い言葉でまとめている

イ 文章で詳しく書いてある

ウ 先生が言ったことをしている

②【よいと考えた理由】

あ 教室で学習したことだけをのせる方がよいから

い 伝えたいことが一目で分かるから

う 日本中のゴミが減ると思うから

<出題のねらい>

学習したことをもとに、自分の伝えたいことをわかりやすく伝えるため、ふさわしい表現方法を考えることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「広げ深める」…友達と互いに学び合う。自分の考えを伝える。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より>

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

自分の考えを相手に分かりやすく伝えるためには、最も伝えたいことは何かを考え、内容をよく吟味し、端的に表現することが大切です。国語の「書くこと」の学習で、書く目的や意図を明確にした上で、書き方や表し方を工夫させてみましょう。また、表現活動の際には、分かりやすい表現方法について、「なぜよいのか」という根拠も併せて考える習慣をつけさせるとよいでしょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例	個票への記述
1	<p>ア A案よりB案の方が文字量が少ないことから短くまとめたことがわかる</p> <p>イ B案の方が文字量が少ないため、すぐに読むことができる</p>	<p>①ア (○)</p> <p>②イ (○)</p>	スライドを作成する目的を考え、伝えたいことを簡けつに示し、わかりやすく表現するよさについて理解できています。また、その理由についても、適切に考えることができました。
2	<p>ア A案よりB案の方が文字量が少ないことから短くまとめたことがわかる</p> <p>あ 「教室で学習したことだけをのせる」ことについてこの問題の場面設定から読み取れない</p> <p>う ABの案ともにごみ問題にはふれていない</p>	<p>①ア (○)</p> <p>②い以外 or 無解答 (×)</p>	スライドを作成する目的を考え、伝えたいことを簡けつに示し、わかりやすく表現するよさについて理解できています。自分の考えを相手に分かりやすく伝えるための表現のくふうについて、もう一度考えてみましょう。
3	<p>イ 「文章で詳しく書いてある」のはB案でなくA案</p> <p>ウ 「先生が言ったこと」であるかどうかは不明</p> <p>い B案の方が文字量が少ないため、すぐに読むことができる</p>	<p>①ア以外 or 無解答 (×)</p> <p>②い (○)</p>	見やすい、わかりやすい資料づくりで大切なことは理解できています。実際に調べたことをもとに資料を作るときは、目的をしっかりとつかんで、伝える内容を短い言葉でまとめていくことを心がけましょう。
4	<p>イ 「文章で詳しく書いてある」のはB案でなくA案</p> <p>ウ 「先生が言ったこと」であるかどうかは不明</p> <p>あ 「教室で学習したことだけをのせる」ことについてこの問題の場面設定から読み取れない</p> <p>う ABの案ともにごみ問題にはふれていない</p>	<p>①ア以外 or 無解答 (×)</p> <p>②い以外 or 無解答 (×)</p>	伝えたいことを短く、わかりやすく表現をくふうすることは大切です。また、そうすることで、伝えたいことが一目で分かります。自分の考えを相手にわかりやすく伝えるための表現のくふうについて、もう一度考えてみましょう。
0	無解答	—	自分の考えを相手にわかりやすく伝える方法について、友達と見合っってよりよい方法について考えていくとよいでしょう。イラストや短い言葉でまとめていくなどのくふうも大切です。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(8)	記述式	6分	難

問題 8
みらいさんたちの作ったスライドは、下の① 修正前と② 修正後です。①と②を見比べて、何番目のスライドがどのようによくなったか、みらいさんたちに伝えるために、他のグループの一人として自分の言葉で説明しましょう。ただし、「どう変わった」は30字以内で、「なにが」は15字以内で入力しましょう。※指定された文字数以上は入力できません。

<出題のねらい>

自分の考えや意見を述べる際に、根拠となるデータを示すことの大切さに気づくことができるかどうかをみる。

<『「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム』との関連>

「広げ深める」…自分の考えを伝える

<学習の基盤となる資質・能力> <学習指導要領総則より>

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

自分の考えや意見を述べる際に、根拠となるデータや文書等を示すことで、より正確で説得力のある伝え方ができます。例えば、友達と考えを広げ深めていく場面などで取り入れていきましょう。またその際は、根拠となるデータ等について、目的に応じて必要な情報、正しい情報を取捨選択していけるように指導しましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ ①修正したスライドの番号 (5) が理解できた。 ②スライドがどのように修正されたか書いている。 ③ (グラフを入れたことで) みらいさんの意見 (がはっきり分かる) または「(グラフを入れたことで) 根拠 (がはっきり分かる) ことについて書いている。 ④字数制限を守っている。 ①②③④すべての条件を満たしている。	①番号: 5 ②国民一人当たりの年間のごみしよ理費用のグラフが入った (26 字) ③みらいさんの意見の根きよ (12 字)
2	○ ②③④の条件を満たしているが①を満たしていない。 (スライドの番号だけが誤答)	①番号が5以外 ※他は類型1を参照
3	○ ①③④の条件を満たしているが②を満たしていない。 ※例: どの資料が限定しにくい	②どう変わった: 説明がより詳しくなった (×) ※他は類型1を参照
4	○ ①②④の条件を満たしているが③を満たしていない。 ※キーワードとして「考え・意見」「根拠・理由」	③なにが: 食品ロスの問題 (×) ※他は類型1を参照
5	○ ①②③の条件を満たしているが④を満たしていない。 (字数オーバーまたは文として途中で終わっていて意味が伝わらない)	②国民一人当たりのごみしよ理費用のグラフがスライドの真ん中に入った (32 字) ③みらいさんの考えのもとになっているもの (19 字) ※他は類型1を参照
6	○ ①の条件のみ満たしているが、類型1～類型5に当てはまらない。	②どう変わった: 折れ線グラフが入った (×) ③なにが: 食品ロスの問題 (×) ※他は類型1を参照
9	○ 上記以外の解答	
0	○ 無解答	—

個票への記述
2つの資料を見くらべて、どこを修正したか、またその修正内容と理由について、正しく答えることができました。自分の考えを効果的に相手に伝えるために、根きよとなるデータを示すという、大事なことをよく理解しています。
自分の考えを効果的に相手に伝えるために、根きよとなるデータを示すという、大事なことをよく理解していますが、どこを修正したのかを正しく答えることができませんでした。聞かれていることに正しく答えるように気をつけましょう。
自分の考えを伝えるための資料作りについて、修正の場所や理由は正しく答えていましたが、どのような修正をしたのかを正しく説明できませんでした。自分の考えを言葉にして具体的に説明する力を身につけていきましょう。
自分の考えを伝えるための資料作りについて、修正の場所や内容は正しく答えましたが、なんのために修正したのかを答えることができませんでした。自分の考えの理由を正しく説明できるようにがんばりましょう。
自分の考えを伝えるための資料作りについて修正の内容や理由をしっかりと考えることができましたが、条件に合わせた文字数で答えることができませんでした。自分の考えを短くまとめたり、くわしく説明したりする学習活動がんばりましょう。
自分の考えを伝えるための資料作りについて、どこを修正したのかは気づくことができましたが、修正の内容とその理由は正しく答えることができませんでした。気づいたことに印をつけたり、自分の言葉で説明したりするなどしていきましょう。
自分の考えを伝えるための資料作りについて、どこを修正したのか、また修正の内容とその理由は正しく答えることができませんでした。複数の資料をくらべるときは、気づいたことに印をつけたり、自分の言葉で説明したりするなどしていきましょう。
2つの資料を見くらべて、自分の考えを伝えるときは、資料の共通点やちがいに注目し、気づいたところに印をつけたり書き出したりして、それをもとに、自分の言葉で説明するなどしていきましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(9)	選択式	3分	普通

問題 9

みらいさんたちは、自分たちが考えたA、Bの合言葉を読んだ人に向けて、これまでの学習をもとにしたワンポイントの説明を加えることにしました。次の①～⑤の中から、A、Bの合言葉それぞれに最もふさわしいものを1つずつ選びましょう。

<解答らん>

A 「冷そう庫 買物前に チェックだよ」

B 「買った後 すく食べるなら てまえどり」

【ワンポイントの説明】

- ねだんの高かった物だけは、最後まで使い切りましょう。
- 食べ物は、できるだけ新鮮な物を買う方が健康によいですね。
- 消費期限が近くても、早めに食べる場合は問題ないです。
- すでにある物をまた買ってしまおうと、食品がむだになりますよ。
- 新しい商品を試してみることは、楽しいからおすすめですよ。

<出題のねらい>

学習した内容を振り返り、学んだことを日常生活に生かすために、適切な言葉で表現することができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「まとめあげる」…学んだことをまとめる。思考の過程を振り返る。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より>

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

学習を振り返る活動はとても大切です。わかったことや身に付いたことを自分の言葉でまとめる習慣を付けさせましょう。この場面のように、自分の日常生活に生かしたり、周りの人たちに分かりやすく伝えたりするためには、最も伝えたいことは何かを考え、効果的な言葉を選び、要点を押さえて表現できるように指導していきましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ 食品ロスを減らすための取り組みについて理解し、合言葉について、対応したワンポイントの説明を選択できている。	A④ (○) B③ (○)
2	○ Bは、「てまえどり」についてのワンポイントの説明にするため、①値段について、②健康面について、④新商品については選択できない。	A④ (○) B①②④⑤と無解答のいずれか (×)
3	○ Aは、「家にある物を重複して買わない」ためのワンポイントの説明にするため、①値段について、②健康面について、④新商品については選択できない。	A①②③⑤と無解答のいずれか (×) B③ (○)
4	○ Aは、「家にある物を重複して買わない」、Bは、「てまえどり」のワンポイントの説明にするため、A④とB③以外は適さない。	A①②③⑤と無解答のいずれか (×) B ①②④⑤と無解答のいずれか (×)
0	無解答	—

個票への記述
問題の中の学習の流れをよく理解し、目的に応じた説明を選ぶことができます。これからも伝えたいことにふさわしい説明ができるようにしていきましょう。
問題の中の学習の流れをよく理解し、目的に応じた説明を選ぶことについて、2つのうち1つができています。伝えようとしていることがどのような場面や様子を意識しているのか、具体的に考えて表現していくことも大切です。
問題の中の学習の流れをよく理解し、目的に応じた説明を選ぶことについて、2つのうち1つができています。伝えようとしていることがどのような場面や様子を意識しているのか、具体的に考えて表現していくことも大切です。
問題の中の学習の流れや、目的に応じた説明についてもう一度よく考えましょう。伝えようとしていることがどのような場面や様子を意識しているのか、具体的に考えて説明してみましょう。
問題の中の学習の流れや、目的に応じた説明についてもう一度よく考えましょう。伝えようとしていることがどのような場面や様子を意識しているのか、具体的に考えて説明してみましょう。